行事おしらせ いずれも参加無料、多数時抽選

化石発掘体験 （恐竜サイエンス・テーリング）

岩から化石を探し出す発掘体験ができます。月形町から発掘されたクジラ化石です。

①9月6日(土)10:00～12:00　※少雨決行。
場所　札幌市博物館活動センター(中央区北1西9)
対象　小学4年生～大人(小学生は保護者同伴)
定員　15名
募集期間:8/1(金)～8／20(水)必着

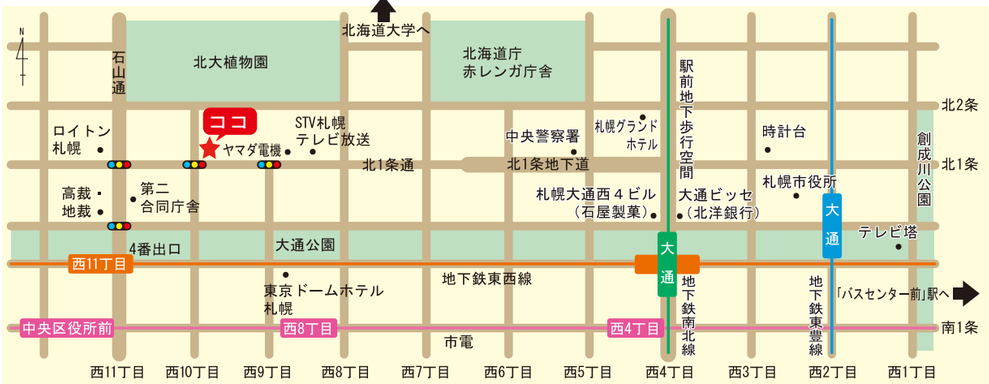
②9月20日(土)10:00～12:00　※少雨決行。
場所、対象、定員は①と同じ。
募集期間:8/1(金)～9／3(水)必着

お申し込み方法　電話、ハガキ、FAXにてお申し込みください。①、②どちらを希望か書き、行事名、住所・郵便番号、参加者全員の氏名、年齢、電話番号を記入し、札幌市博物館活動センター(下記)までお送りください。

札幌市博物館活動センターご案内

ホームページ http://www.city.sapporo.jp/museum/

【開館時間】10時～17時【入館料】無料【休館日】日・月曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
【住　所】〒060-0001 札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ5階
【電　話】011-200-5002 【FAX】011-200-5003 【E-mail】museum@city.sapporo.jp



■公共交通機関をご利用ください。
＜地下鉄＞東西線西11丁目駅4番出口徒歩5分。
＜市　電＞西8丁目または中央区役所前電停徒歩8分。
＜バ　ス＞北1条西7丁目バス停徒歩3分。

■札幌駅前地下歩行空間を大通方面に向かい、北1条地下道へ右折し、最も西側の出口（右手）から地上へ出て、そのままヤマダ電機の方向へ直進、徒歩約5分（合計徒歩約15分）。

編 集 後 記

空白地帯やミッシングリンクという言葉は謎めいていて、人の好奇心をそそるのではないでしょうか。札幌も然り。サッポロカイギュウのような大型動物化石の発見が想定外だったように、札幌の自然史についてもまだ空白がたくさん残されています。世界はまだわからないことだらけです。（ま）

累計来館者数 92,602人
（2014年6月末現在）

さっぽろ市 02-J02-14-781 26-2-541

VEGETABLE OIL INK　ミューズレターは、再生紙および植物油インキを使用しています。

札幌市博物館活動センター情報誌 ミューズ・レター
Muse Letter
北・その自然と人
札幌市博物館活動センターは札幌市の自然史博物館の計画推進のため、市民とともに普及交流活動、展示、調査・研究、資料収集保存を行う活動拠点です。
2014. 7 No. 57　発行・札幌市博物館活動センター
〒060-0001　札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ内5階
TEL 011-200-5002 FAX 011-200-5003 http://www.city.sapporo.jp/museum/

世界地図の空白・北海道が、ガリヴァーを誕生させた！

人類が地球を宇宙から観察できるようになってからおよそ100年。さすがに、未知の大陸や島々を探そうという野望をもった、やんちゃな男たちはいなくなりましたが、15世紀半ばから200年ほど続いた「大航海時代」といわれる時期には、長さ20メートル足らずの木造船で、方位磁針と望遠鏡ひとつで、その果てがどうなっているのかもわからない大海原に乗り出す男たちがいました。それは、現代の宇宙旅行にも匹敵する大冒険だったに違いありません。なぜそのような無謀な冒険にでたのかといえば、そこに黄金の国“ジパング”のような夢の島があると信じたからです。未知の海域にこそ、未発見の島があり、見たこともないお宝があるはずと考えたのは当然の予測です。大航海時代が一段落し、世界の様子がわかりはじめた17世紀において、未だ知られざる海域として残ったのが、日本近海、特に北海道周辺でした。北海道は最後まで残された世界地図の空白と言われています。

その空白の海域で想像力を羽ばたかせたのが、『ガリヴァー旅行記』(1726年)を書いたジョナサン・スイフトでした。物語に登場する巨人の国「ブロブディンナグ」、浮かぶ島「ラピュタ」は北太平洋、不死の国「ラグナグ」、霊界に通じる国「マルドナーダ」は、日本の周辺海域を想定して描かれています。当時、最新の情報に基づく未知の海域であったからこそ、この物語は真実味を感じさせたのかもしれません。ガリヴァーは、空想の世界から実在する江戸、長崎を経由して母国イギリスの現実へ帰るという結末にしています。

18世紀以降、ロシア、フランス、イギリス、アメリカなどがこぞって唯一謎の海域として残された北海道周辺を調査しました。「椅子取りゲーム」で最後に残った椅子を取り合うようなものです。遅ればせながら、そのことに気づいた日本は、あわてて最後にゲームに加わり、最上徳内、近藤重蔵、岡本監輔、松浦武四郎などを先駆けとした探検家たちが次々と蝦夷地(現在の北海道)の調査を行いました。そして、1817年、北海道を含む正確な日本地図をいち早く完成させたのが伊能忠敬・間宮林蔵をリーダーとする日本チームだったのです。(古沢)

『ガリヴァー旅行記』初版が出版された1726年頃の日本付近(ダンヴィル(1734)の一部に加筆。秋月(1999)より引用。)
北海道付近(★)は、現サハリン南部と一体化しており、東側は空白域。★の北に独立してある細長い島は,現サハリン北部付近。

参考図書,図版引用出典:秋月俊幸,1999「日本北辺の探検と地図の歴史」. 北海道大学出版会.

「博物館」を意味する英語Museumの語源であり、喜びを表すmuse(ギリシャ語)と通信や手紙を意味するLetter(英語)からMuseLetterと名付けました。